

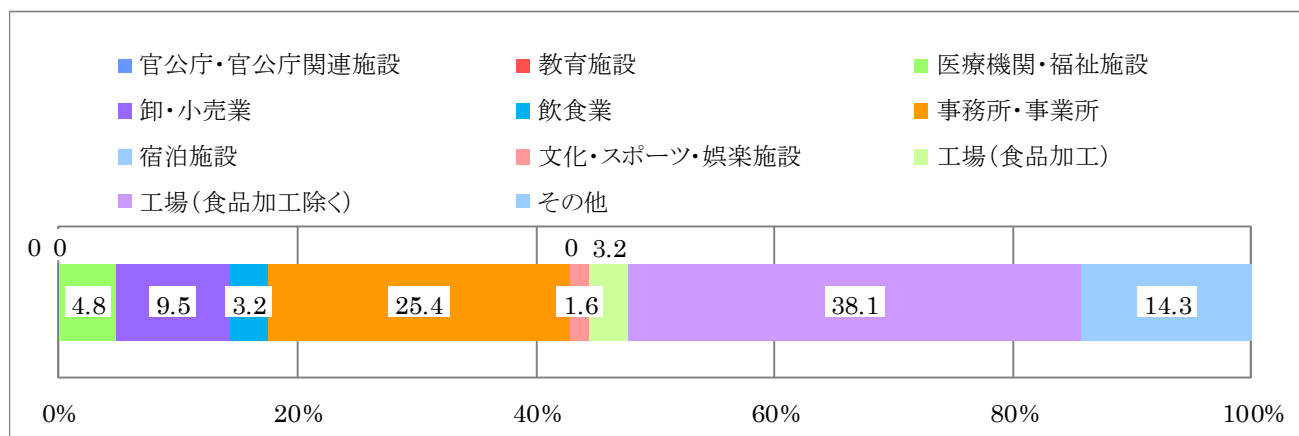
第 3 章 事業所

1 属性項目

質問 1 業種

回答のあった事業所の業種は、「工場（食品加工除く）」が38.1%で最も多く、次いで「事務所・事業所」（25.4%）、「卸・小売業」（9.5%）、「医療機関・福祉施設」（4.8%）、「飲食業」（3.2%）、「工場（食品加工）」（3.2%）、「文化・スポーツ・娯楽施設」（1.6%）となっています。なお、「その他」（14.3%）には、建設業、運送業、サービスなどが含まれています。

●業種(計 63)



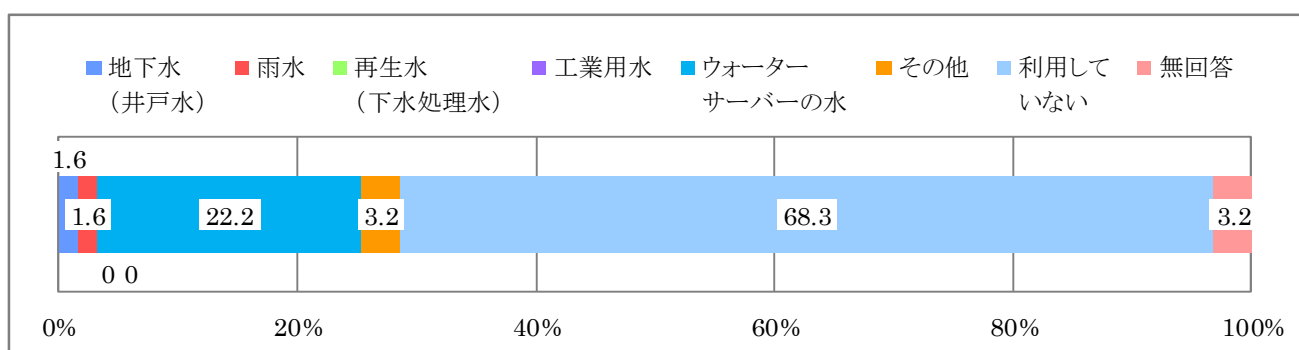
2 利用している水について

質問2 水道水以外で主に利用している水

水道水以外で主に利用している水は、「ウォーターサーバーの水」(22.2%)、「地下水(井戸水)」(1.6%)、「雨水」(1.6%)となっています。なお、「利用していない」(68.3%)が大半を占めています。

業種別にみると、「ウォーターサーバーの水」は卸・小売業、事務所・事業所、工場(食品加工)、工場(食品加工除く)において利用されています。

●水道水以外で主に利用している水(計63)



●水道水以外で主に利用している水(業種別)

	回答事業所	地下水(井戸水)	雨水	再生水(下水処理水)	工業用水	ウォーターサーバーの水	その他	利用していない
官公庁・官公庁関連施設	-	-	-	-	-	-	-	-
教育施設	-	-	-	-	-	-	-	-
医療機関・福祉施設	3	-	-	-	-	-	-	2
卸・小売業	6	-	-	-	-	2	-	3
飲食業	2	-	-	-	-	-	-	2
事務所・事業所	16	1	-	-	-	5	1	9
宿泊施設	-	-	-	-	-	-	-	-
文化・スポーツ・娯楽施設	1	-	-	-	-	-	-	1
工場(食品加工)	2	-	-	-	-	1	-	1
工場(食品加工除く)	24	-	-	-	-	4	1	19
その他	9	-	1	-	-	2	-	6

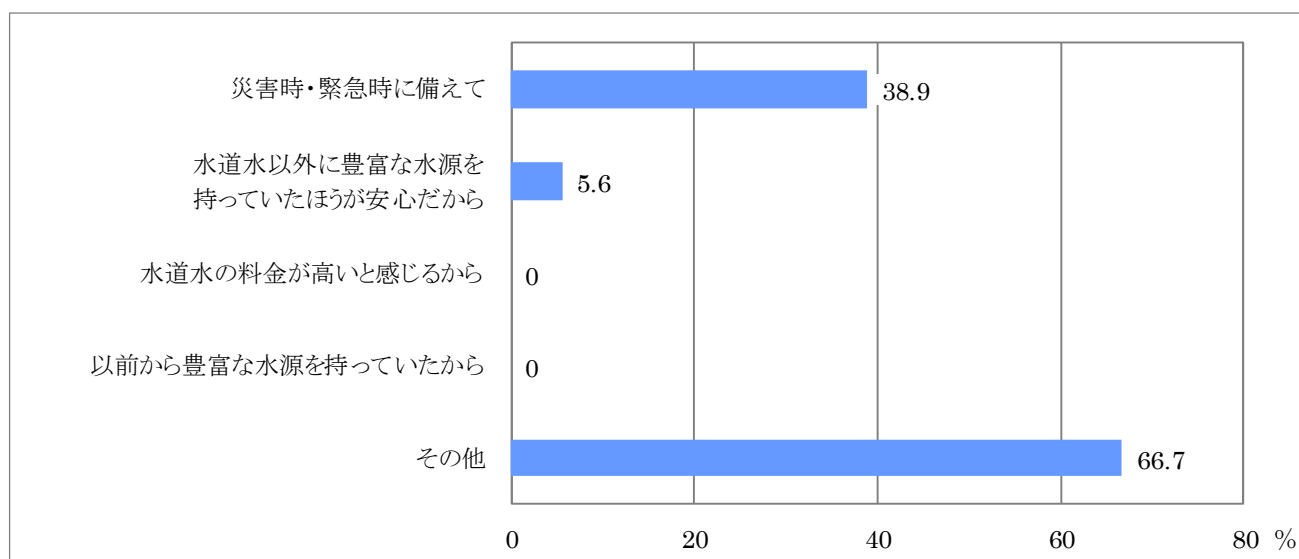
*サンプルが少ないため参考値とします。

質問 2 - 1 水道水以外の水を利用している理由

質問 2 で水道水以外の水を利用していると回答した事業所の理由は、「災害時・緊急時に備えて」が 38.9%で最も多く、次いで「水道水以外に豊富な水源を持っていたほうが安心だから」(5.6%)、となっています。

理由ごとに利用している水を見ると、「災害時・緊急時に備えて」はウォーターサーバーの水、雨水、「水道水以外に豊富な水源を持っていたほうが安心だから」は地下水(井戸水)となっています。

●水道水以外の水を利用している理由(計 18)



●水道水以外の水を利用している理由(利用している水の種類別)

	回答数	水道水の料金が高いと感じるから	災害時・緊急時に備えて	以前から豊富な水源を持っていたから	水道水以外に豊富な水源を持っていたほうが安心だから	その他
地下水(井戸水)	1	-	-	-	1	-
雨水	1	-	1	-	-	1
再生水(下水処理水)	-	-	-	-	-	-
工業用水	-	-	-	-	-	-
ウォーターサーバーの水	14	-	6	-	-	9
その他	2	-	-	-	-	2

*サンプルが少ないため参考値とします。

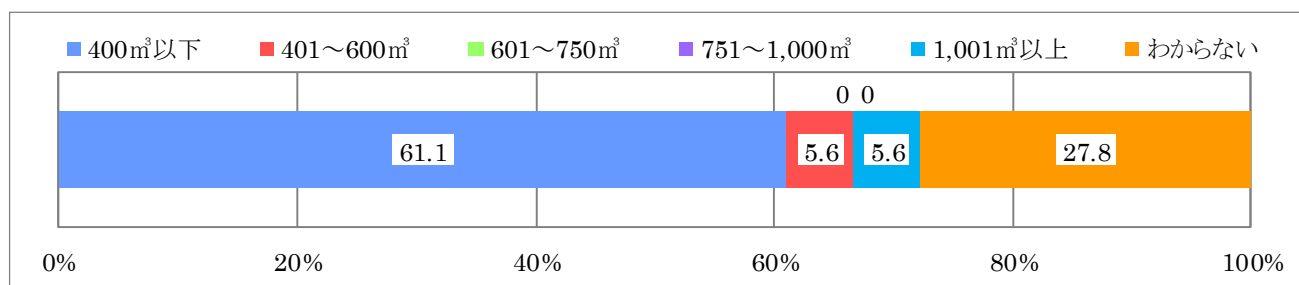
質問 2 - 2 経費削減状況

質問 2 - 1 で水道水の料金が高いと感じると回答した事業所はありませんでした。

質問 2 - 3 水道水以外の水の使用状況

質問 2 で水道水以外の水を利用していると回答した事業所において、その水の使用状況は、「400 m³以下」が 61.1%で最も多く、次いで「401~600 m³」(5.6%)、「1,001 m³以上」(5.6%) となっています。

●水道水以外の水の使用状況 (計 18)

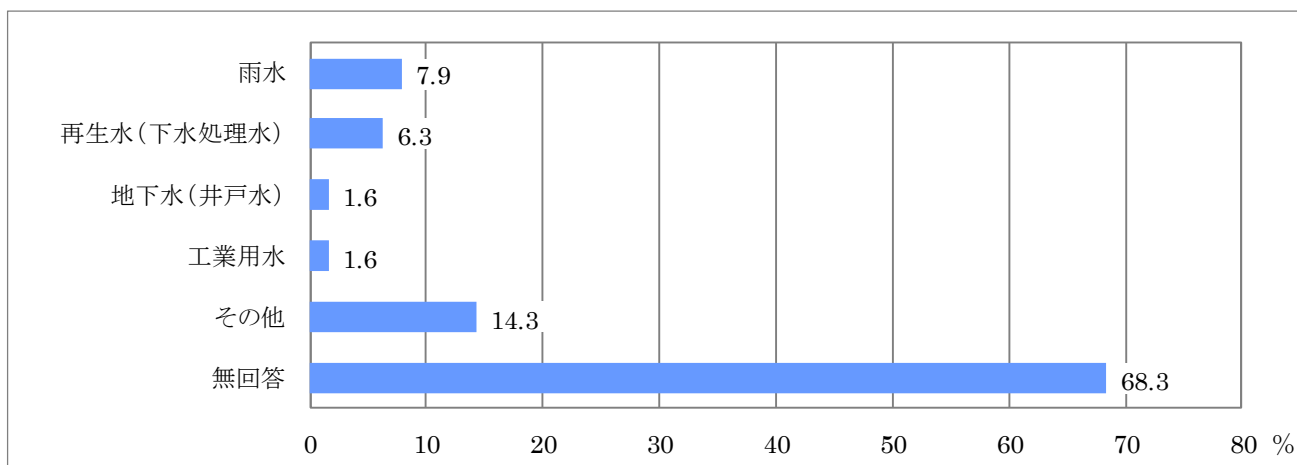


質問3 利用検討している水資源

利用検討している水資源は、「雨水」(7.9%)、「再生水(下水処理水)」(6.3%)、「地下水(井戸水)」(1.6%)、「工業用水」(1.6%)となっています。

業種別にみると、「地下水(井戸水)」は事務所・事業所、「雨水」は事務所・事業所、工場(食品加工除く)、「再生水(下水処理水)」は卸・小売業、事務所・事業所、工場(食品加工除く)、「工業用水」は工場(食品加工除く)となっています。

●利用検討している水資源(計63)



●利用検討している水資源(業種別)

	回答 事業所	地下水 (井戸水)	雨水	再生水 (下水処理水)	工業用水	その他
官公庁・官公庁関連施設	-	-	-	-	-	-
教育施設	-	-	-	-	-	-
医療機関・福祉施設	3	-	-	-	-	-
卸・小売業	6	-	-	1	-	1
飲食業	2	-	-	-	-	-
事務所・事業所	16	1	1	1	-	2
宿泊施設	-	-	-	-	-	-
文化・スポーツ・娯楽施設	1	-	-	-	-	-
工場(食品加工)	2	-	-	-	-	-
工場(食品加工除く)	24	-	2	2	1	4
その他	9	-	2	-	-	2

* サンプルが少ないため参考値とします。

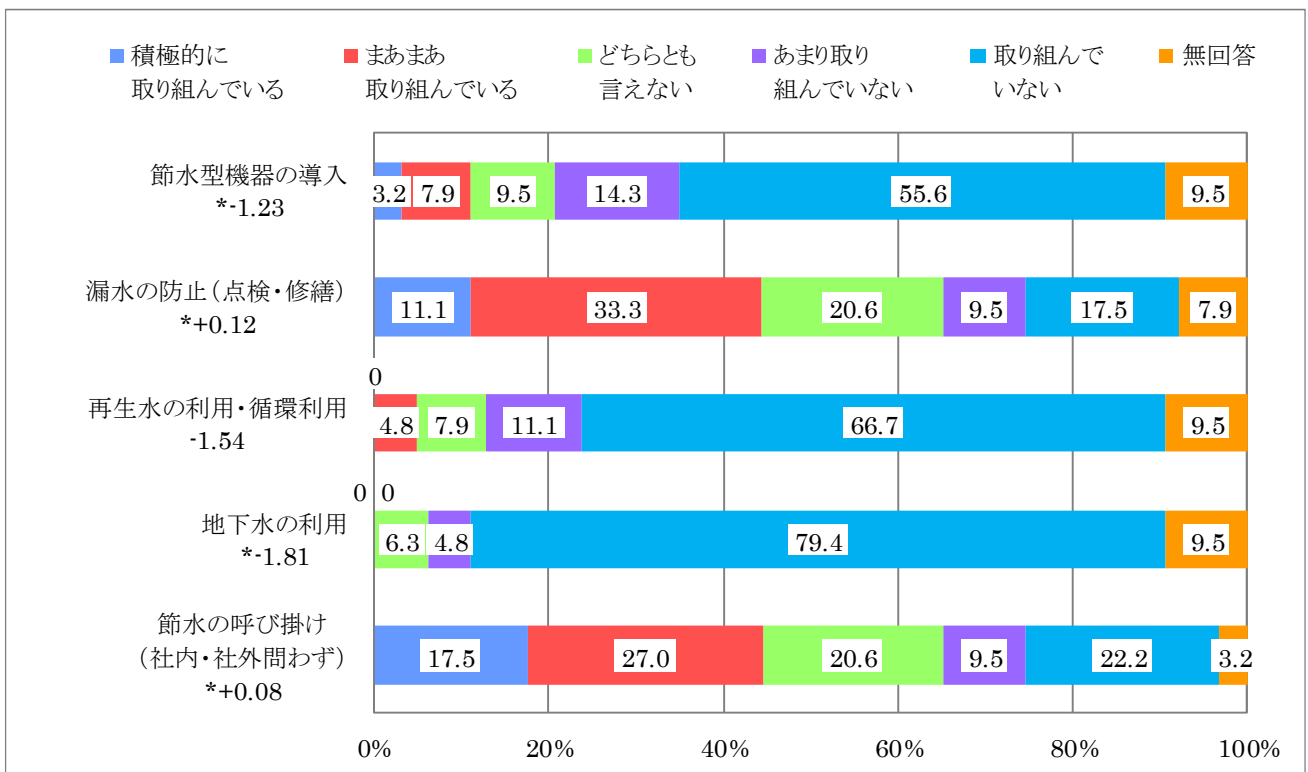
3 水道水について

質問4 節水への取り組み 節水型機器の導入

節水への取り組みについて、①「取り組んでいる」を含む回答（「積極的に取り組んでいる」＋「まあまあ取り組んでいる」）と、②「取り組んでいない」を含む回答（「あまり取り組んでいない」＋「取り組んでいない」）でまとめると以下のように大別できます。

- 「取り組んでいる」を含む回答が多い⇒「漏水の防止（点検・修繕）」、
「節水の呼び掛け（社内・社外問わず）」
- 「取り組んでいない」を含む回答が多い⇒「節水型機器の導入」
「再生水の利用・循環利用」、「地下水の利用」

●節水への取り組み(計 63)

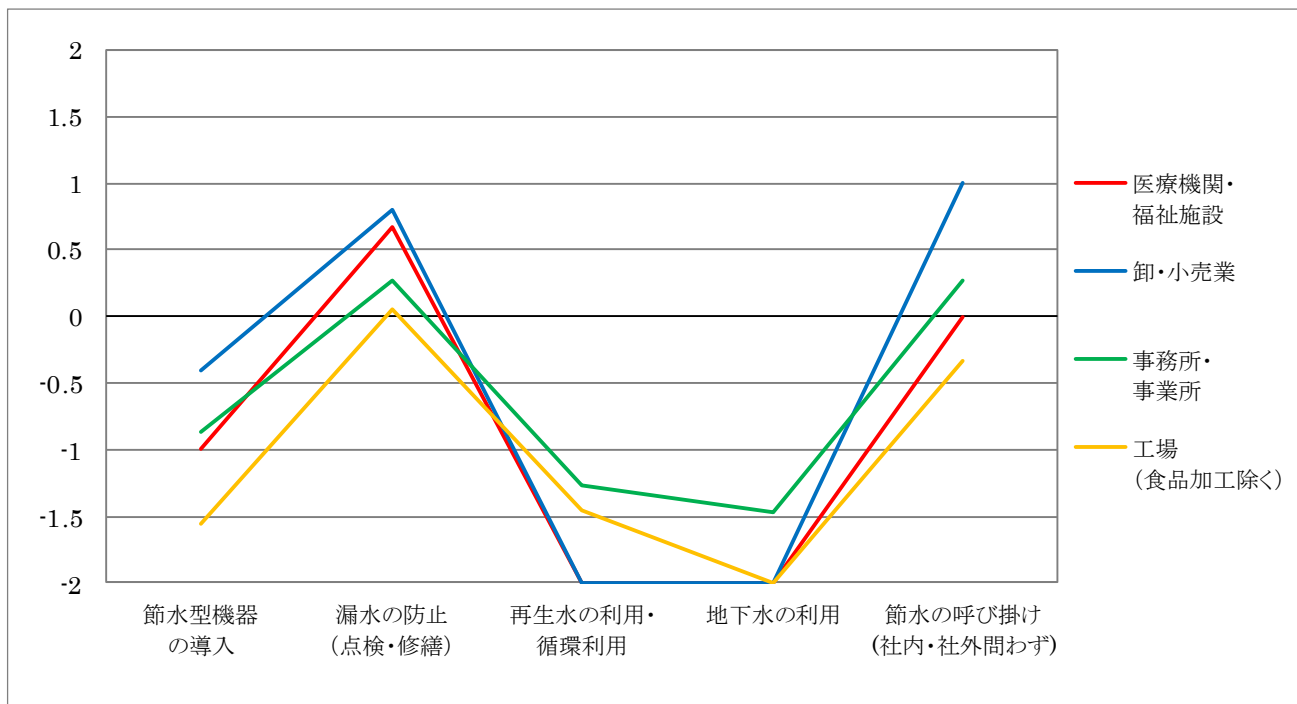


*左側項目下の数字は<加重平均>で、全体傾向を示しています。ここでは「A. 積極的に取り組んでいる」=+2、「B. まあまあ取り組んでいる」=+1、「C. どちらとも言えない」=±0、「D. あまり取り組んでいない」=-1、「E. 取り組んでいない」=-2として重みをかけた平均値で求めています。

$$\text{加重平均} = \frac{A \text{ と回答社数} \times (+2) + B \text{ と回答社数} \times (+1) + C \text{ と回答社数} \times (\pm 0) + D \text{ と回答社数} \times (-1) + E \text{ と回答社数} \times (-2)}{A \text{ と回答社数} + B \text{ と回答社数} + C \text{ と回答社数} + D \text{ と回答社数} + E \text{ と回答社数}}$$

業種別にみると、「節水の呼び掛け（社内・社外問わず）」は卸・小売業、事務所・事業所で取り組んでいる傾向がみられます。また、「漏水の防止（点検・修繕）」は卸・小売業、医療機関・福祉施設、事務所・事業所で取り組んでいる傾向がみられます。一方、「地下水の利用」や「再生水の利用・循環利用」はあまり取り組まれていないようです。

● 節水への取り組み（業種別、加重平均：取り組み度）



* サンプル数が少ない「官公庁・官公庁関連施設」、「教育施設」、「飲食業」、「宿泊施設」、「文化・スポーツ・娯楽施設」、「工場（食品加工）」、及び「その他」は除いています。

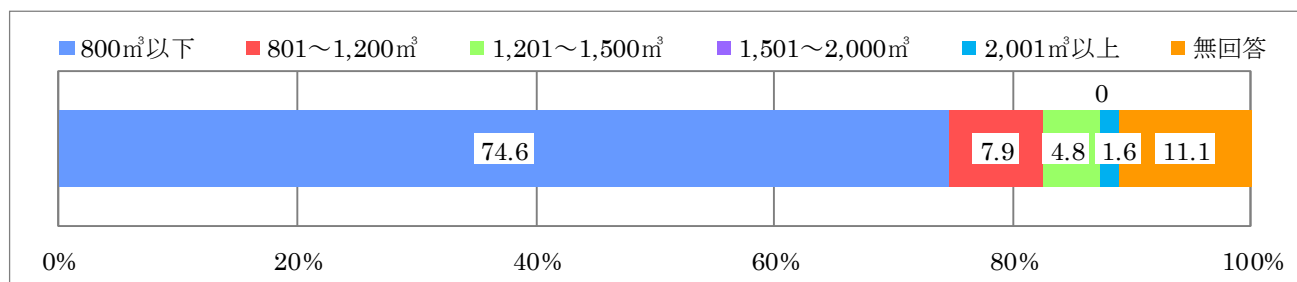
* 加重平均（取り組み度）は、全事業所が「積極的に取り組んでいる」なら+2、「まあまあ取り組んでいる」なら+1、「どちらとも言えない」なら±0、「あまり取り組んでいない」なら-1、「取り組んでいない」なら-2となる指標です。

質問5 水道の使用水量

水道の使用水量は、「800 m³以下」が74.6%で最も多く、次いで「801～1,200 m³」(7.9%)、「1,201～1,500 m³」(4.8%)、「2,001 m³以上」(1.6%)となっています。

業種別にみると、「800 m³以下」は工場（食品加工除く）で24社中22社、事務所・事業所で16社中11社、卸・小売業で6社中4社などとなっています。

●水道の使用水量(計63)



●水道の使用水量(業種別)

	回答 事業所	800 m ³ 以下	801～ 1,200 m ³	1,201～ 1,500 m ³	1,501～ 2,000 m ³	2,001 m ³ 以上
官公庁・官公庁関連施設	-	-	-	-	-	-
教育施設	-	-	-	-	-	-
医療機関・福祉施設	3	1	-	1	-	-
卸・小売業	6	4	-	-	-	1
飲食業	2	-	1	-	-	-
事務所・事業所	16	11	2	2	-	-
宿泊施設	-	-	-	-	-	-
文化・スポーツ・娯楽施設	1	-	-	-	-	-
工場(食品加工)	2	2	-	-	-	-
工場(食品加工除く)	24	22	2	-	-	-
その他	9	7	-	-	-	-

* サンプルが少ないため参考値とします。

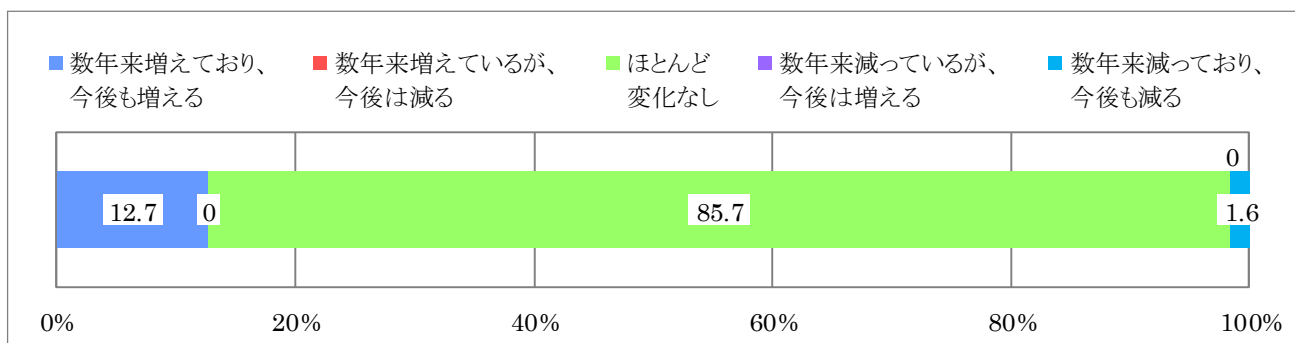
質問6 使用水量の状況

使用水量の状況は、「ほとんど変化なし」が85.7%で最も多く、次いで「数年来増えており、今後も増える」(12.7%)、「数年来減っており、今後も減る」(1.6%)となっています。

業種別にみると、「数年来増えており、今後も増える」は医療機関・福祉施設、事務所・事業所、工場（食品加工除く）となっています。

使用水量との関係を見ると、「数年来増えており、今後も増える」と回答した事業所は、使用水量が800 m³以下、801～1,200 m³となっています。

●使用水量の状況(計 63)

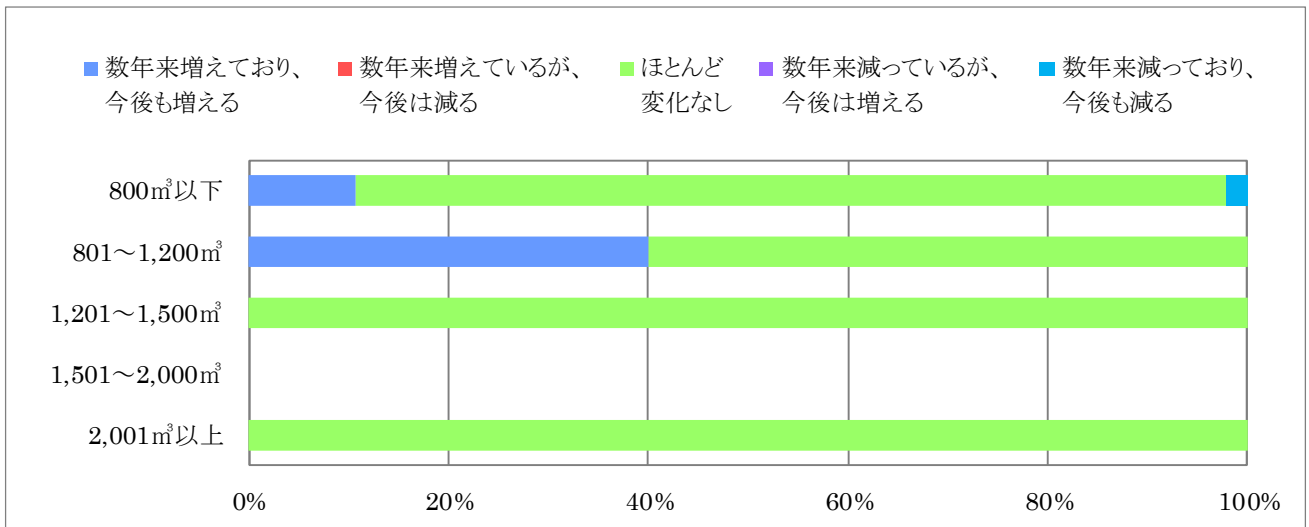


●使用水量の状況(業種別)

	回答事業所	数年来増えており、今後も増える	数年来増えているが、今後は減る	ほとんど変化なし	数年来減っているが、今後は増える	数年来減っており、今後も減る
官公庁・官公庁関連施設	-	-	-	-	-	-
教育施設	-	-	-	-	-	-
医療機関・福祉施設	3	2	-	1	-	-
卸・小売業	6	-	-	6	-	-
飲食業	2	-	-	2	-	-
事務所・事業所	16	2	-	14	-	-
宿泊施設	-	-	-	-	-	-
文化・スポーツ・娯楽施設	1	-	-	1	-	-
工場(食品加工)	2	-	-	2	-	-
工場(食品加工除く)	24	3	-	20	-	1
その他	9	1	-	8	-	-

* サンプルが少ないため参考値とします。

●使用水量の状況(使用水量別)

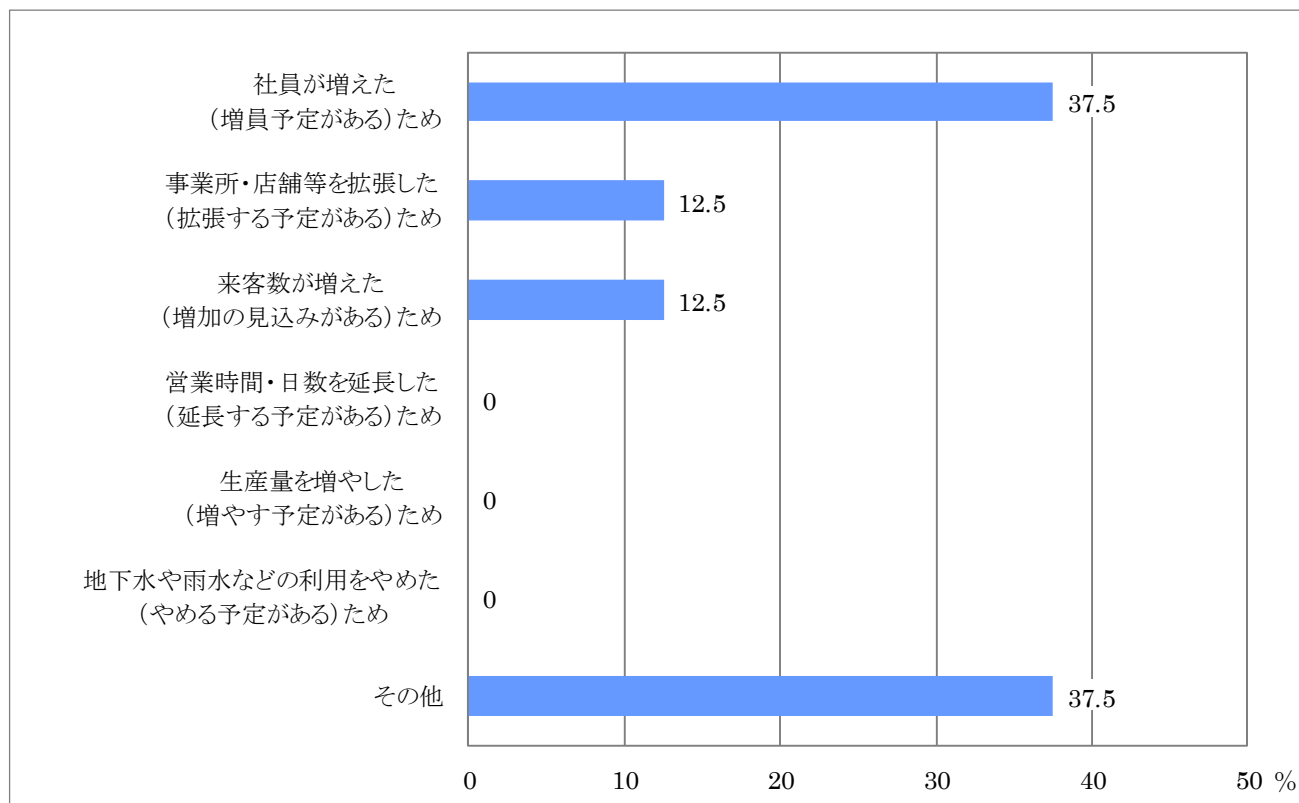


* 1,501~2,000 m³は該当する回答事業所がありません。

質問6-1 今後の使用水量の増加理由

質問6で使用水量が増える傾向にあると回答した事業所の理由は、「社員が増えた（増員予定がある）ため」が37.5%で最も多く、次いで「事業所・店舗等を拡張した（拡張する予定がある）ため」（12.5%）、「来客数が増えた（増加の見込みがある）ため」（12.5%）となっています。

●今後の使用水量の増加理由(計8)



質問6-2 今後の使用水量の減少理由

質問6で使用水量が減る傾向にあると回答した事業所の理由は、「生産量を減らした（減らす予定がある）ため」（1社）でした。

●今後の使用水量の減少理由(計1)

	回答事業所
事業所・店舗等を縮小した（縮小する予定がある）ため	-
営業時間・日数を短縮した（短縮する予定がある）ため	-
生産量を減らした（減らす予定がある）ため	1
社員が減った（減員予定がある）ため	-
来客数が減った（減少が予想される）ため	-
地下水や雨水などを利用した（利用予定がある）ため	-
節水の取り組みを徹底した（取り組む予定がある）ため	-
その他	-

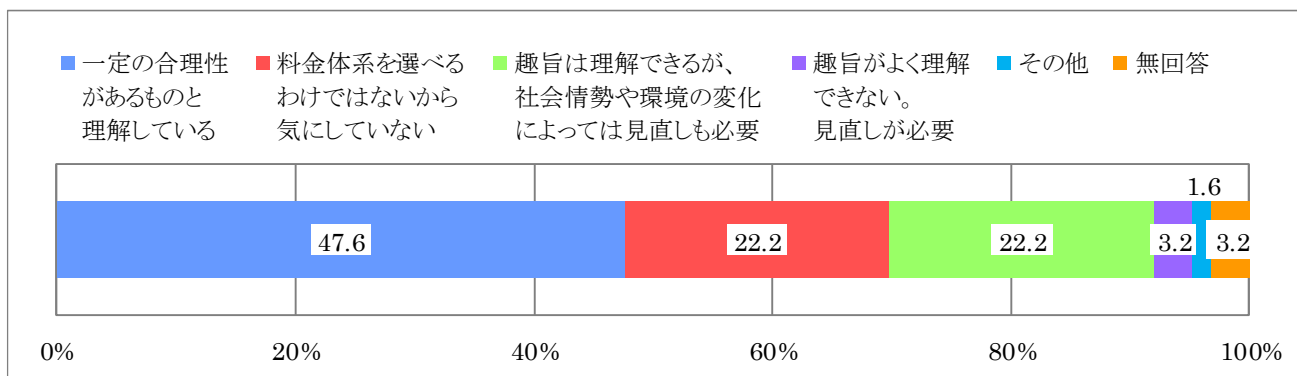
4 水道料金について

質問7 料金体系（逦増型料金）について

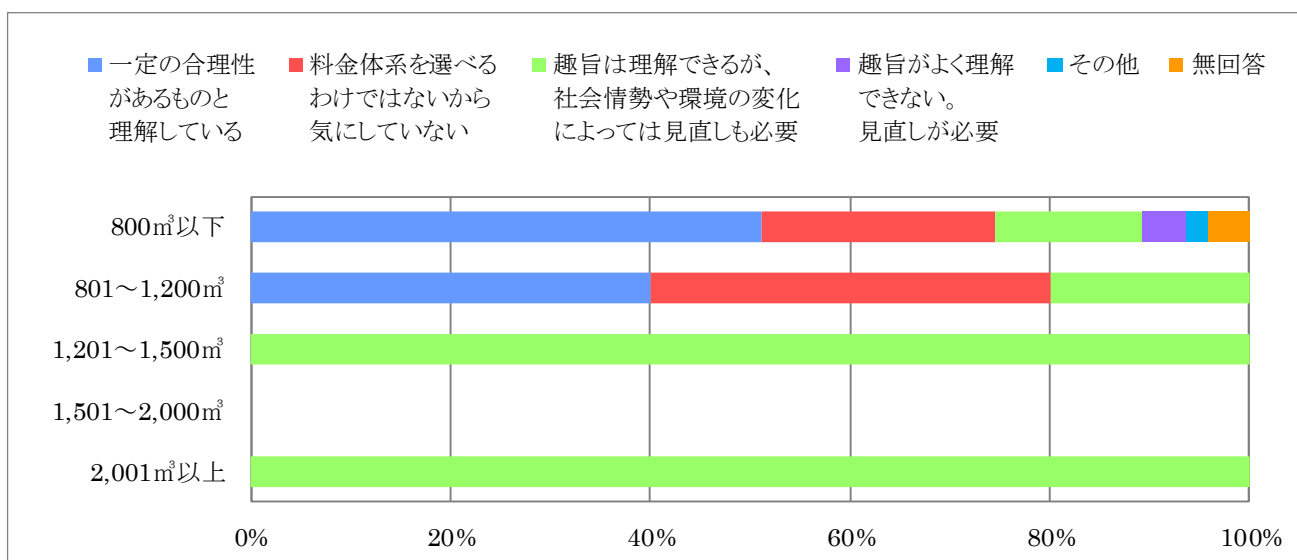
料金体系（逦増型料金）については、「一定の合理性があるものと理解している」が47.6%で最も多く、次いで「料金体系を選べるわけではないから気にしていない」（22.2%）、「趣旨は理解できるが、社会情勢や環境の変化によっては見直しも必要」（22.2%）、「趣旨がよく理解できない。見直しが必要」（3.2%）となっています。

使用水量別にみると、「趣旨は理解できるが、社会情勢や環境の変化によっては見直しも必要」と回答した事業所は、800 m³以下、801～1,200 m³、1,201～1,500 m³、2,001 m³以上、「趣旨がよく理解できない。見直しが必要」と回答した事業所は、800 m³以下となっています。

●料金体系(逦増型料金)について(計63)



●料金体系(逦増型料金)について(使用水量別)

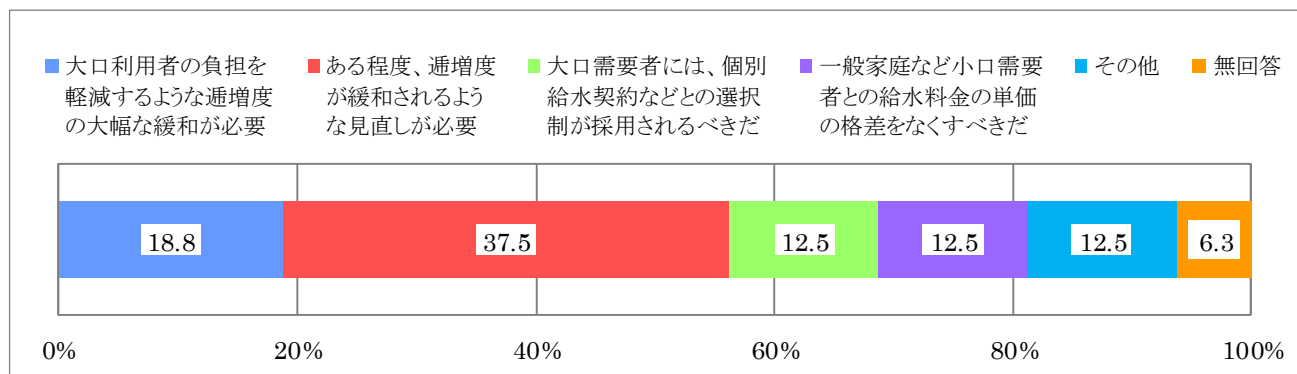


*1,501～2,000 m³は該当する回答事業所がありません。

質問7-1 料金体系の見直し

質問7で「趣旨は理解できるが、社会情勢や環境の変化によっては見直しも必要」または「趣旨がよく理解できない。見直しが必要」と回答した事業所の、必要と考える料金体系の見直しは、「ある程度、逓増度が緩和されるような見直しが必要」が37.5%で最も多く、次いで「大口利用者の負担を軽減するような逓増度の大幅な緩和が必要」(18.8%)、「大口需要者には、個別給水契約などとの選択制が採用されるべきだ」(12.5%)、「一般家庭など小口需要者との給水料金の単価の格差をなくすべきだ」(12.5%)となっています。

●料金体系の見直し(計16)

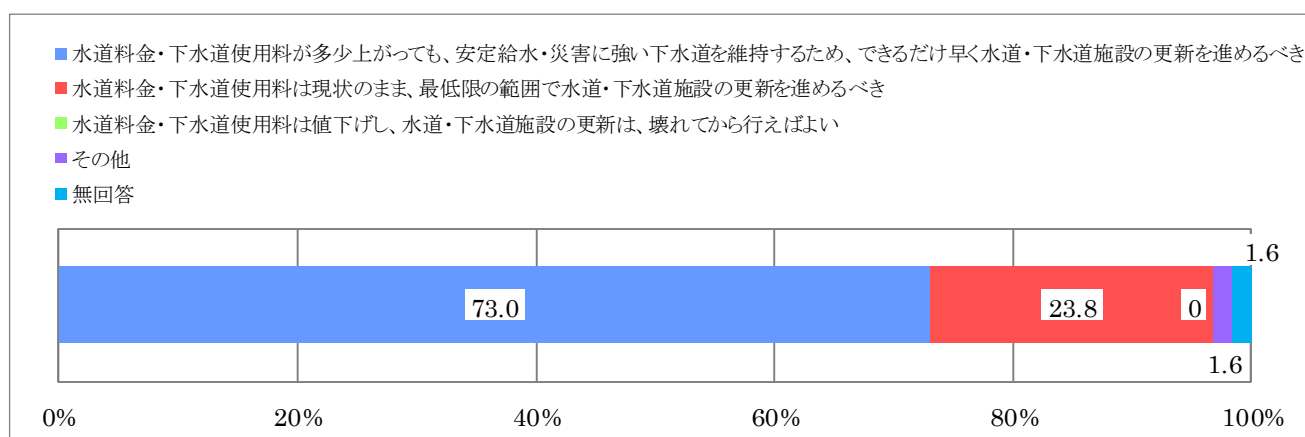


質問8 水道料金・下水道使用料と水道・下水道施設の更新について

水道料金・下水道使用料と水道・下水道施設の更新については、「水道料金・下水道使用料が多少上がっても、安定給水・災害に強い下水道を維持するため、できるだけ早く水道・下水道施設の更新を進めるべき」が73.0%で最も多く、次いで「水道料金・下水道使用料は現状のまま、最低限の範囲で水道・下水道施設の更新を進めるべき」(23.8%)となっています。

業種別にみると、「水道料金・下水道使用料が多少上がっても、安定給水・災害に強い下水道を維持するため、できるだけ早く水道・下水道施設の更新を進めるべき」は工場（食品加工除く）で24社中18社、事務所・事業所で16社中12社などとなっています。

●水道料金・下水道使用料と水道・下水道施設の更新について(計63)



●水道料金・下水道使用料と水道・下水道施設の更新について(業種別)

	回答事業所	水道料金・下水道使用料が多少上がっても、安定給水・災害に強い下水道を維持するため、できるだけ早く水道・下水道施設の更新を進めるべき	水道料金・下水道使用料は現状のまま、最低限の範囲で水道・下水道施設の更新を進めるべき	水道料金・下水道使用料は値下げし、水道・下水道施設の更新は、壊れてから行えばよい	その他
官公庁・官公庁関連施設	-	-	-	-	-
教育施設	-	-	-	-	-
医療機関・福祉施設	3	3	-	-	-
卸・小売業	6	4	2	-	-
飲食業	2	1	1	-	-
事務所・事業所	16	12	4	-	-
宿泊施設	-	-	-	-	-
文化・スポーツ・娯楽施設	1	-	-	-	-
工場(食品加工)	2	1	1	-	-
工場(食品加工除く)	24	18	6	-	-
その他	9	7	1	-	1

* サンプルが少ないため参考値とします。

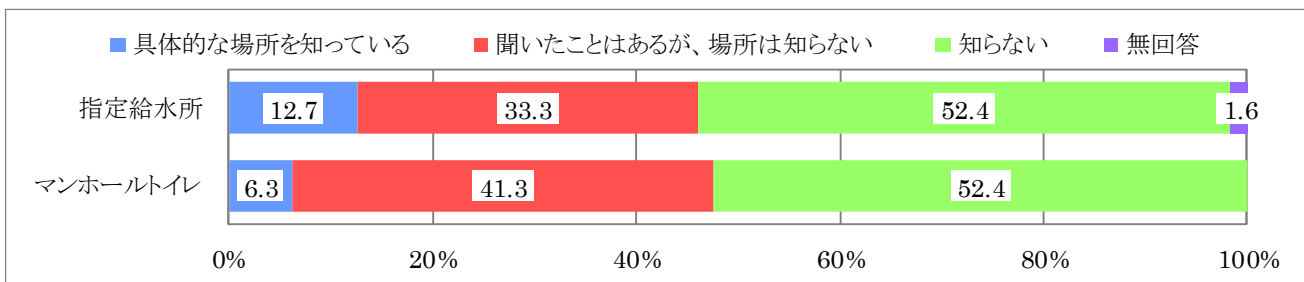
5 災害時・非常時について

質問9 指定給水所及びマンホールトイレの設置場所

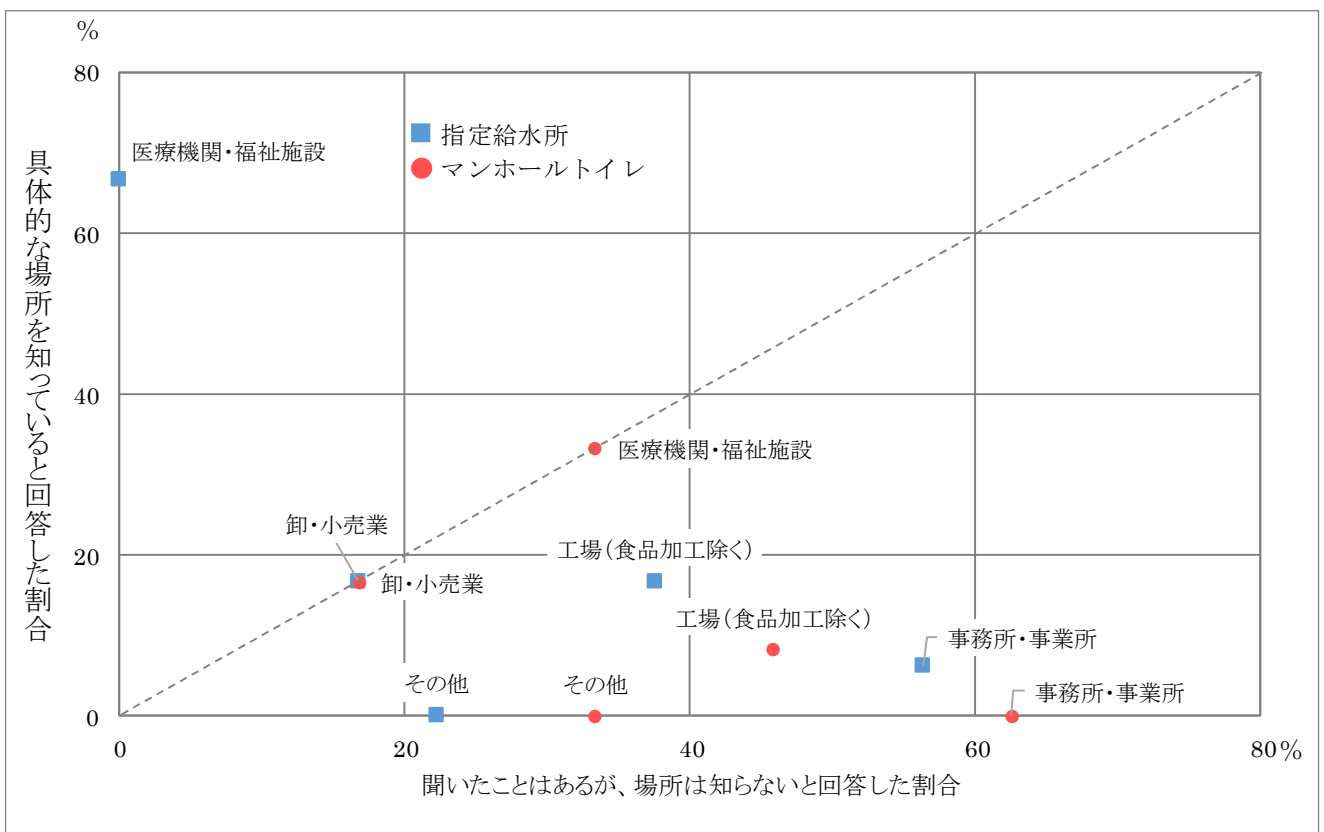
指定給水所の設置場所は、「具体的な場所を知っている」が12.7%で最も少なくなっています。また、マンホールトイレの設置場所も、「具体的な場所を知っている」が6.3%で最も少なくなっています。

業種別にみると、「具体的な場所を知っている」は指定給水所、マンホールトイレとも医療機関・福祉施設で多くなっています。

●指定給水所及びマンホールトイレの設置場所(計63)



●指定給水所及びマンホールトイレの設置場所(業種別、知っていると回答した割合)

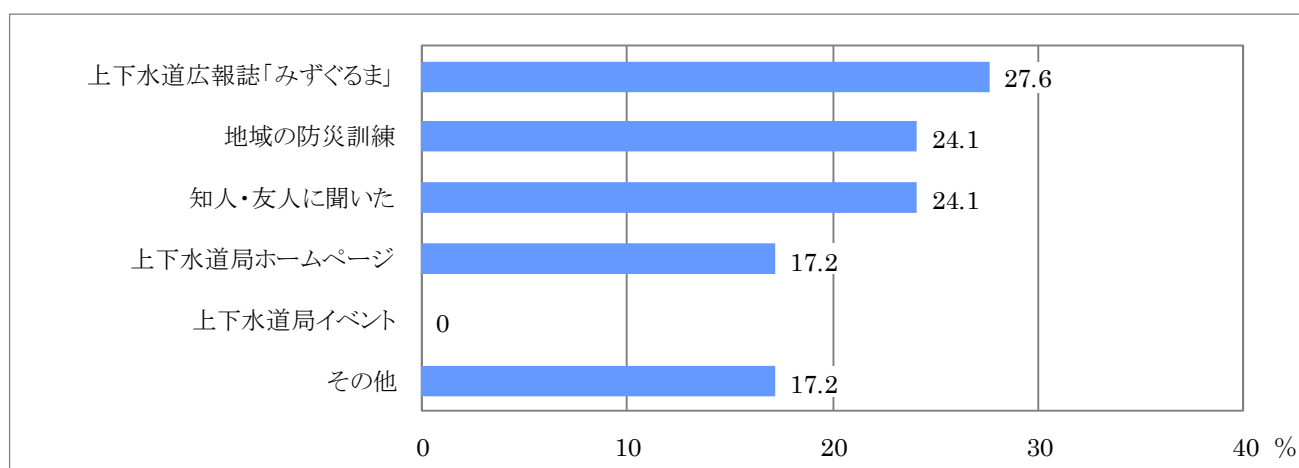


質問9-1 指定給水所の認知経路

質問9で指定給水所の「具体的な場所を知っている」または「聞いたことはあるが、場所は知らない」と回答した事業所の認知経路は、「上下水道広報誌「みずぐるま」」が27.6%で最も多く、次いで「地域の防災訓練」と「知人・友人に聞いた」（ともに24.1%）、「上下水道局ホームページ」（17.2%）となっています。

業種別にみると、「知人・友人に聞いた」は工場（食品加工除く）で13社中6社と多くなっています。

●指定給水所の認知経路(計 29)



●指定給水所の認知経路(業種別)

	回答事業所	上下水道広報誌「みずぐるま」	地域の防災訓練	知人・友人に聞いた	上下水道局ホームページ	上下水道局イベント	その他
官公庁・官公庁関連施設	-	-	-	-	-	-	-
教育施設	-	-	-	-	-	-	-
医療機関・福祉施設	2	-	1	-	-	-	1
卸・小売業	2	-	1	-	-	-	1
飲食業	-	-	-	-	-	-	-
事務所・事業所	10	3	2	-	3	-	2
宿泊施設	-	-	-	-	-	-	-
文化・スポーツ・娯楽施設	-	-	-	-	-	-	-
工場(食品加工)	-	-	-	-	-	-	-
工場(食品加工除く)	13	4	3	6	2	-	1
その他	2	1	-	1	-	-	-

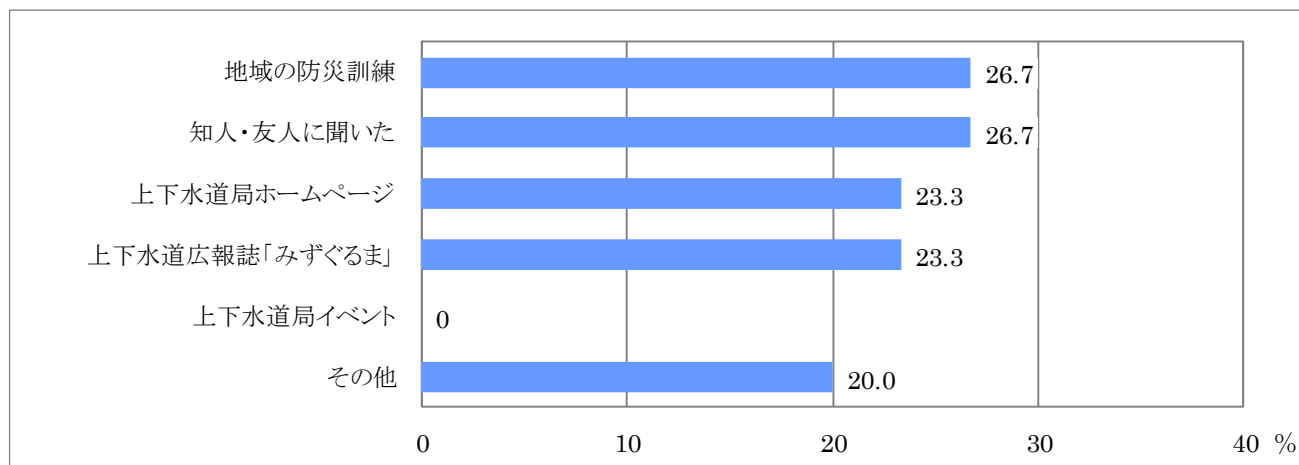
* サンプルが少ないため参考値とします。

質問9-2 マンホールトイレの認知経路

質問9でマンホールトイレの「具体的な場所を知っている」または「聞いたことはあるが、場所は知らない」と回答した事業所の認知経路は、「地域の防災訓練」と「知人・友人に聞いた」が26.7%、「上下水道局ホームページ」と「上下水道広報誌『みずぐるま』」が23.3%となっています。

業種別にみると、「知人・友人に聞いた」は工場（食品加工除く）で13社中5社と多くなっています。

●マンホールトイレの認知経路(計 30)



●マンホールトイレの認知経路(業種別)

	回答事業所	地域の防災訓練	知人・友人に聞いた	上下水道局ホームページ	上下水道広報誌「みずぐるま」	上下水道局イベント	その他
官公庁・官公庁関連施設	-	-	-	-	-	-	-
教育施設	-	-	-	-	-	-	-
医療機関・福祉施設	2	1	-	1	-	-	-
卸・小売業	2	1	-	-	-	-	1
飲食業	-	-	-	-	-	-	-
事務所・事業所	10	2	2	3	3	-	1
宿泊施設	-	-	-	-	-	-	-
文化・スポーツ・娯楽施設	-	-	-	-	-	-	-
工場(食品加工)	-	-	-	-	-	-	-
工場(食品加工除く)	13	3	5	3	4	-	3
その他	3	1	1	-	-	-	1

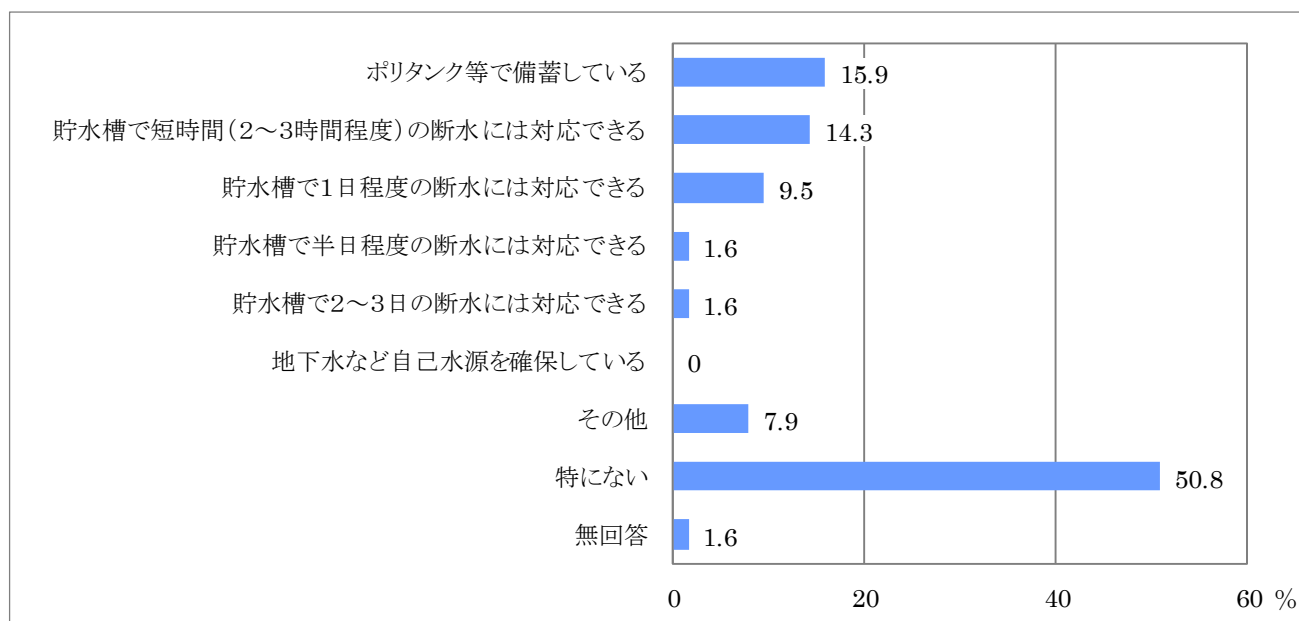
* サンプルが少ないため参考値とします。

質問10 災害時・断水時における対策

災害時・断水時に備えて行っている対策は、「ポリタンク等で備蓄している」が15.9%で最も多く、次いで「貯水槽で短時間（2～3時間程度）の断水には対応できる」（14.3%）、「貯水槽で1日程度の断水には対応できる」（9.5%）でしたが、「特にない」（50.8%）が半数を占めています。

業種別にみると、「ポリタンク等で備蓄している」は卸・小売業、事務所・事業所、工場（食品加工除く）、「貯水槽で短時間（2～3時間程度）の断水には対応できる」は卸・小売業、飲食業、事務所・事業所、工場（食品加工除く）、「貯水槽で1日程度の断水には対応できる」は事務所・事業所、工場（食品加工）となっています。

●災害時・断水時における対策(計63)



●災害時・断水時における対策(業種別、項目名は短縮しています)

	回答 事業所	貯水槽				ポリ タンク等	自己 水源	その他
		短時間	半日	1日	2~3日			
官公庁・官公庁関連施設	-	-	-	-	-	-	-	-
教育施設	-	-	-	-	-	-	-	-
医療機関・福祉施設	3	-	1	-	-	-	-	1
卸・小売業	6	1	-	-	-	2	-	-
飲食業	2	1	-	-	-	-	-	-
事務所・事業所	16	3	-	4	1	1	-	1
宿泊施設	-	-	-	-	-	-	-	-
文化・スポーツ・娯楽施設	1	-	-	-	-	-	-	-
工場（食品加工）	2	-	-	1	-	-	-	-
工場（食品加工除く）	24	4	-	-	-	5	-	3
その他	9	-	-	1	-	2	-	-

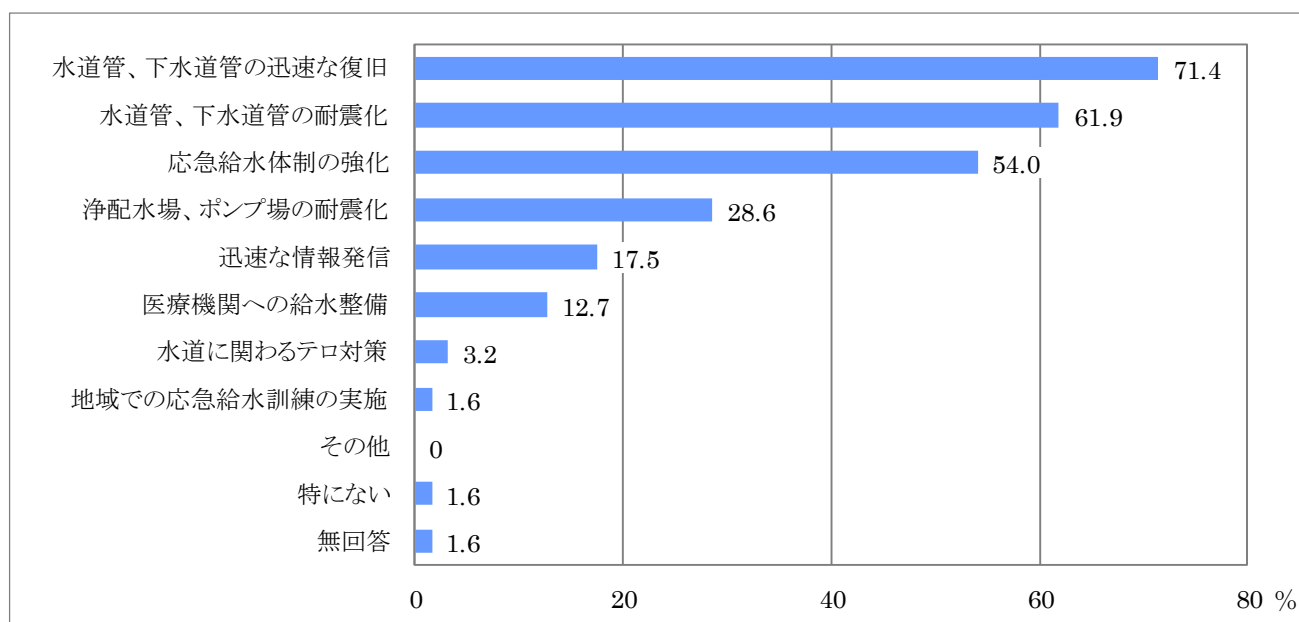
*サンプルが少ないため参考値とします。

質問 1 1 災害時・非常時の対策として上下水道局に望むこと

災害時・非常時の対策として上下水道局に望むことは、「水道管、下水道管の迅速な復旧」が 71.4% で最も多く、次いで「水道管、下水道管の耐震化」(61.9%)、「応急給水体制の強化」(54.0%)、「浄配水場、ポンプ場の耐震化」(28.6%)、「迅速な情報発信」(17.5%) となっています。

業種別にみると、「水道管、下水道管の迅速な復旧」は工場（食品加工除く）で 24 社中 20 社、事務所・事業所で 16 社中 10 社、「水道管、下水道管の耐震化」は工場（食品加工除く）で 24 社中 14 社、事務所・事業所で 16 社中 11 社、卸・小売業で 6 社中 5 社、「応急給水体制の強化」は工場（食品加工除く）で 24 社中 10 社、事務所・事業所で 16 社中 7 社、卸・小売業で 6 社中 5 社などとなっています。

●災害時・非常時の対策として上下水道局に望むこと(計 63)



●災害時・非常時の対策として上下水道局に望むこと(業種別)

	回答事業所	水道管、下水道管の迅速な復旧	水道管、下水道管の耐震化	応急給水体制の強化
官公庁・官公庁関連施設	-	-	-	-
教育施設	-	-	-	-
医療機関・福祉施設	3	3	2	3
卸・小売業	6	3	5	5
飲食業	2	-	2	1
事務所・事業所	16	10	11	7
宿泊施設	-	-	-	-
文化・スポーツ・娯楽施設	1	-	-	-
工場(食品加工)	2	1	-	-
工場(食品加工除く)	24	20	14	10
その他	9	8	5	8

* サンプルが少ないため参考値とします。

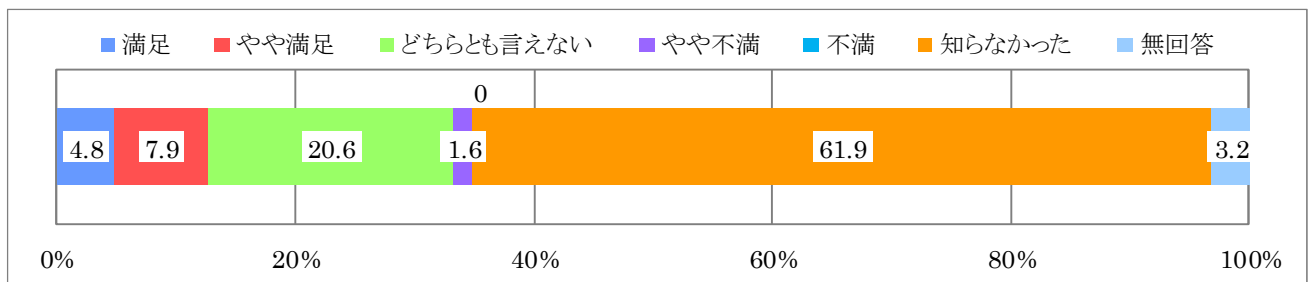
6 広報・啓発活動について

質問 1 2 ホームページでの情報発信

ホームページでの情報発信は、「知らなかった」が 61.9%で最も多く、「満足」を含む回答（「満足」＋「やや満足」）は 12.7%となっています。

業種別にみると、「満足」を含む回答（「満足」＋「やや満足」）をした事業所は卸・小売業、事務所・事業所、工場（食品加工除く）となっています。

●ホームページでの情報発信(計 63)



●ホームページでの情報発信(業種別)

	回答事業所	満足	やや満足	どちらとも言えない	やや不満	不満	知らなかった	無回答
官公庁・官公庁関連施設	-	-	-	-	-	-	-	-
教育施設	-	-	-	-	-	-	-	-
医療機関・福祉施設	3	-	-	2	-	-	1	-
卸・小売業	6	-	1	1	1	-	3	-
飲食業	2	-	-	-	-	-	2	-
事務所・事業所	16	-	1	6	-	-	9	-
宿泊施設	-	-	-	-	-	-	-	-
文化・スポーツ・娯楽施設	1	-	-	-	-	-	1	-
工場(食品加工)	2	-	-	-	-	-	2	-
工場(食品加工除く)	24	2	2	1	-	-	17	2
その他	9	1	1	3	-	-	4	-

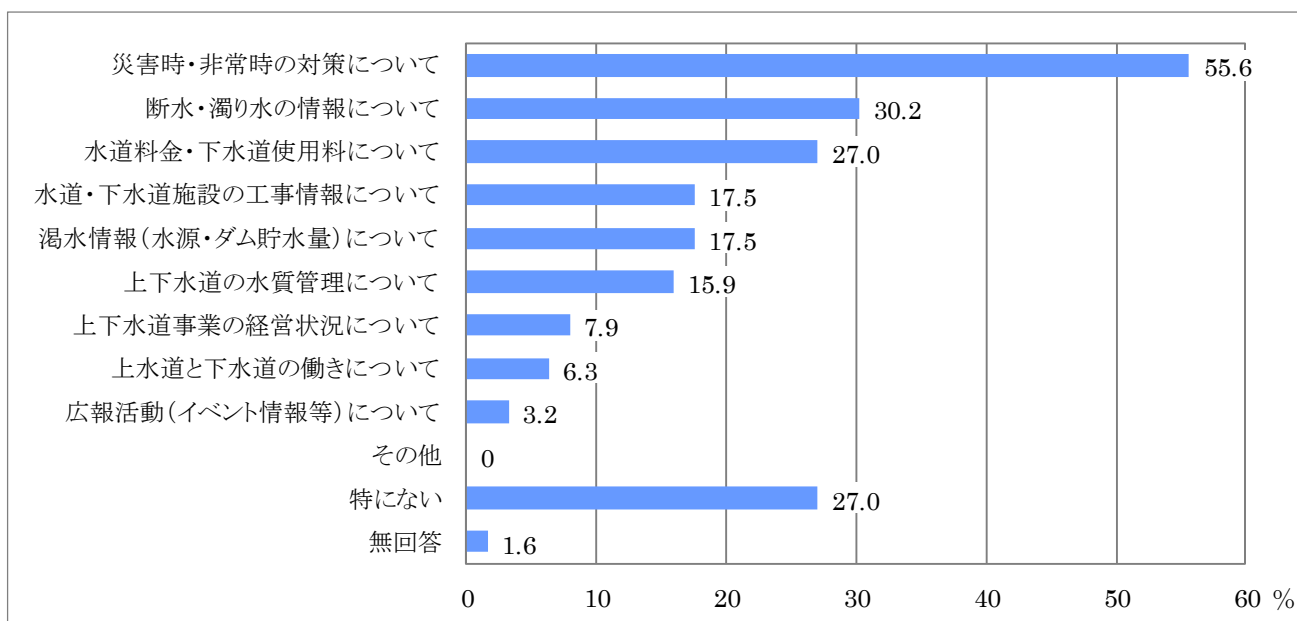
* サンプルが少ないため参考値とします。

質問 1 3 知りたい上下水道情報

知りたい上下水道情報は、「災害時・非常時の対策について」が 55.6%で最も多く、次いで「断水・濁り水の情報について」(30.2%)、「水道料金・下水道使用料について」(27.0%)、「水道・下水道施設の工事情報について」(17.5%)、「渇水情報(水源・ダム貯水量)について」(17.5%)となっています。

業種別にみると、「災害時・非常時の対策について」は工場(食品加工除く)で 24 社中 13 社、事務所・事業所で 16 社中 9 社、「断水・濁り水の情報について」は工場(食品加工除く)で 24 社中 10 社、事務所・事業所で 16 社中 4 社などとなっています。

●知りたい上下水道情報(計 63)



●知りたい上下水道情報(業種別、主要 3 項目)

	回答事業所	災害時・非常時の対策について	断水・濁り水の情報について	水道料金・下水道使用料について
官公庁・官公庁関連施設	-	-	-	-
教育施設	-	-	-	-
医療機関・福祉施設	3	2	2	1
卸・小売業	6	2	-	3
飲食業	2	1	1	-
事務所・事業所	16	9	4	3
宿泊施設	-	-	-	-
文化・スポーツ・娯楽施設	1	-	-	-
工場(食品加工)	2	2	1	1
工場(食品加工除く)	24	13	10	8
その他	9	6	1	1

* サンプルが少ないため参考値とします。

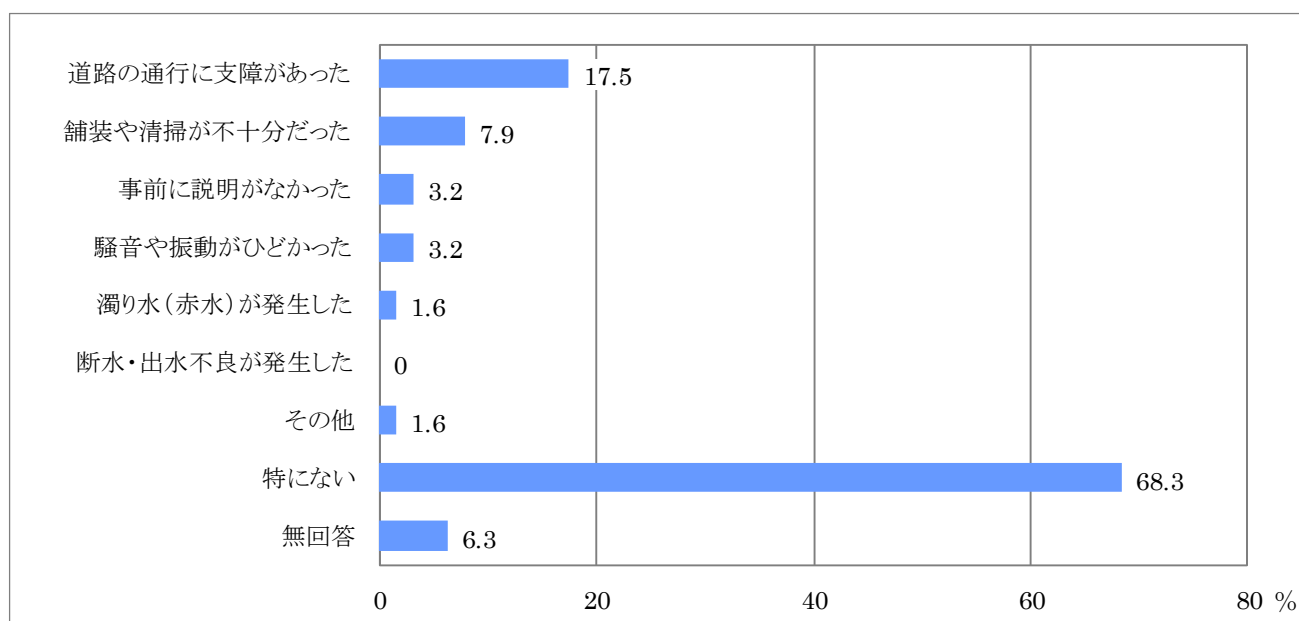
7 水道事業について

質問 1 4 上下水道局の工事で不満に思ったこと

上下水道局の工事で不満に思ったことは、「道路の通行に支障があった」が 17.5%で最も多く、次いで「舗装や清掃が不十分だった」(7.9%)、「事前に説明がなかった」、「騒音や振動がひどかった」(ともに 3.2%) となっていますが、「特にない」が 68.3%で多くを占めました。

業種別にみると、「道路の通行に支障があった」は卸・小売業、事務所・事業所、工場（食品加工）、工場（食品加工除く）、「舗装や清掃が不十分だった」は卸・小売業、飲食業、事務所・事業所、工場（食品加工除く）であがっています。

● 上下水道局の工事で不満に思ったこと(計 63)



● 上下水道局の工事で不満に思ったこと(業種別)

	回答事業所	道路の通行に支障があった	舗装や清掃が不十分だった	事前に説明がなかった	騒音や振動がひどかった
官公庁・官公庁関連施設	-	-	-	-	-
教育施設	-	-	-	-	-
医療機関・福祉施設	3	-	-	-	-
卸・小売業	6	1	1	-	1
飲食業	2	-	1	-	-
事務所・事業所	16	2	1	-	-
宿泊施設	-	-	-	-	-
文化・スポーツ・娯楽施設	1	-	-	-	-
工場（食品加工）	2	1	-	1	-
工場（食品加工除く）	24	5	1	1	-
その他	9	2	1	-	1

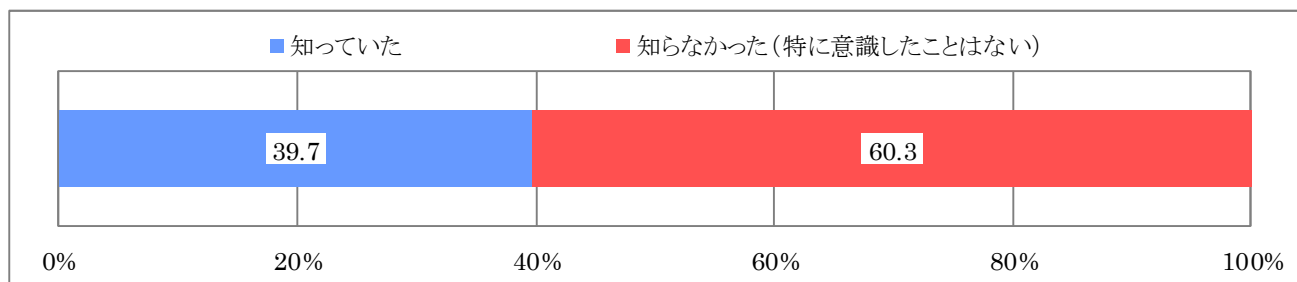
* サンプルが少ないため参考値とします。

質問 15 水道事業が独立採算制であること

水道事業が独立採算制であることは、「知っていた」が 39.7%、「知らなかった（特に意識したことはない）」が 60.3%となっています。

業種別にみると、「知っていた」と回答した事業所は工場（食品加工除く）で 24 社中 8 社、事務所・事業所で 16 社中 6 社などとなっています。

●水道事業が独立採算制であること(計 63)



●水道事業が独立採算制であること(業種別)

	回答事業所	知っていた	知らなかった (特に意識したことはない)
官公庁・官公庁関連施設	-	-	-
教育施設	-	-	-
医療機関・福祉施設	3	1	2
卸・小売業	6	3	3
飲食業	2	2	-
事務所・事業所	16	6	10
宿泊施設	-	-	-
文化・スポーツ・娯楽施設	1	-	1
工場(食品加工)	2	1	1
工場(食品加工除く)	24	8	16
その他	9	4	5

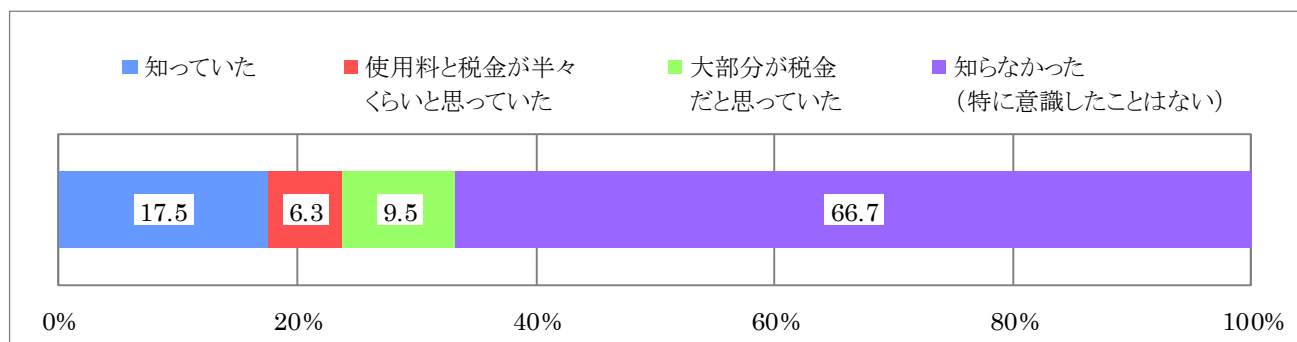
* サンプルが少ないため参考値とします。

質問 16 下水道使用料の不足分を公費でまかなっていること

下水道使用料の不足分を公費でまかなっていることは、「知らなかった（特に意識したことはない）」が 66.7%で最も多く、次いで「知っていた」（17.5%）となっています。

業種別にみると、「知っていた」と回答した事業所は医療機関・福祉施設、卸・小売業、事務所・事業所、工場（食品加工除く）となっています。

●下水道使用料の不足分を公費でまかなっていること(計 63)



●下水道使用料の不足分を公費でまかなっていること(業種別)

	回答事業所	知っていた	使用料と税金が半々くらいと思っていた	大部分が税金だと思っていた	知らなかった (特に意識したことはない)
官公庁・官公庁関連施設	-	-	-	-	-
教育施設	-	-	-	-	-
医療機関・福祉施設	3	1	-	1	1
卸・小売業	6	1	1	-	4
飲食業	2	-	-	-	2
事務所・事業所	16	4	1	-	11
宿泊施設	-	-	-	-	-
文化・スポーツ・娯楽施設	1	-	-	-	1
工場(食品加工)	2	-	-	-	2
工場(食品加工除く)	24	4	2	4	14
その他	9	1	-	1	7

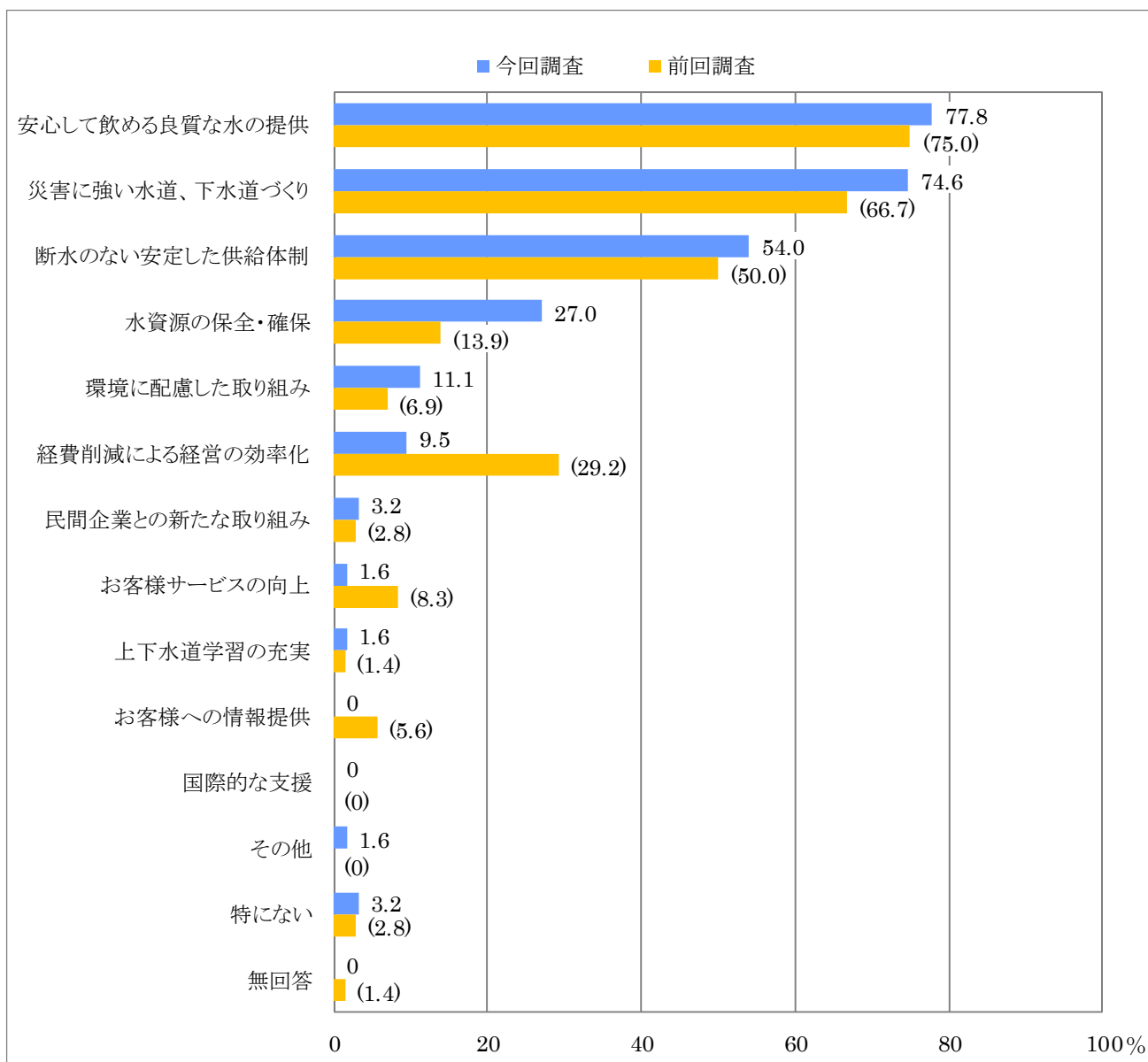
* サンプルが少ないため参考値とします。

8 今後の課題について

質問17 今後の上下水道局の取り組みにおいて重視すべきこと

今後の上下水道局の取り組みにおいて重視すべきことは、「安心して飲める良質な水の提供」が77.8%で最も多く、次いで「災害に強い水道、下水道づくり」(74.6%)、「断水のない安定した供給体制」(54.0%)、「水資源の保全・確保」(27.0%)、「環境に配慮した取り組み」(11.1%)となっています。

●今後の上下水道局の取り組みにおいて重視すべきこと(計63)



* 前回調査では下水道事業に関する項目は含まれておりません。

9 自由回答

質問18 上下水道局へのご意見・ご要望

上下水道局へのご意見・ご要望として、10事業所からの自由回答がありました。分野別のおもな内容は下記のとおりです。

●上下水道局へのご意見・ご要望—自由回答の分野別件数

ご意見・ご要望	件数	内容（抜粋）
安心・安全な水の供給について	4	<ul style="list-style-type: none"> ・安全を第一にお願いしたい。 ・災害が多くなっている中、蛇口をひねればあたりまえに水が出ることに感謝。 ・節水などについて考えるきっかけとしても、このようなアンケートを定期的実施するのはいいことである。 ・日本の上下水道網は世界でもトップレベルだと思う。維持していくのは大変だと思うが、今後も限られた予算の中でよりよい水を提供してほしい。
排水について	1	<ul style="list-style-type: none"> ・さほどの大雨ではないのにかわらず、すぐ側溝の水が溢れてくる。一考を。
工事について	1	<ul style="list-style-type: none"> ・掘り起こしの工事を少なくしてほしい。電気と一緒に大きい土管に入れて（地下）工事するなど。
漏水について	1	<ul style="list-style-type: none"> ・半年くらい漏水が続いていたのを検針時に指摘されて気づいた。もう少し早く教えてもらいたかった。今後は領収書をこまめに見て節水に心がけたい。
上下水道事業者について	1	<ul style="list-style-type: none"> ・悪徳修理業者等の取締り、指導をお願いしたい。
その他	2	<ul style="list-style-type: none"> ・いつもありがとうございます。

*内容については、主だった意見を要約して掲載しています。